

大学運営会議議事録

開催日 及び場所	令和4年5月12日(木) 午後2時00分から午後2時20分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施	
出欠状況	出席：35名 欠席：4名	
<p>1 報告事項</p> <p>(1)入学式・学位記授与式の日程について</p> <p>(2)令和4年3月卒業者の就職内定状況等について（静岡県立大学）</p> <p>(3)令和4年3月卒業者の就職内定状況等について（静岡県立大学短期大学部）</p> <p>(4)静岡市の「生涯活躍のまち静岡」の事業受託について</p> <p>(5)新型コロナワクチン職域追加接種（3回目接種）の実施について</p>		

- ・前回議事録(案)の確認

令和4年4月の大学運営会議議事録(案)について、承認された。

1 報告事項

- (1) 入学式・学位記授与式の日程について

令和5年度の学位記授与式と令和6年度の入学式の日程について、会場候補の1つであるグランシップが2年前予約ということもあり、日程を確定した。

開催場所については、現在本学で開催するという案も含め検討中である。

- (2) 令和4年3月卒業者の就職内定状況等について（静岡県立大学）

本学就職内定状況は、学部 98.4%、大学院 98.6%、大学全体 98.4%で、県内大学の平均値 84.8%を上回る数値となった。

新型コロナウイルスの影響が懸念されたが、本学は昨年同等の高い内定率が維持された。他大学でも極端に内定率が下がったということはないので、新型コロナウイルスの就職内定への影響はそれほどなかったとの印象である。

求人の状況については、令和2年から急激に増えているが、オンライン求人システムを採用したことによるもの。

個別支援に力を入れており、専門員を配置している。キャリア支援センター利用者数は昨年と比較すると増加した。学部ごとでは、就職活動の選択肢が多い、国際関係学部や経営情報学部が多く利用されている。企業でもオンライン相談が多数行われているように、本センターでもオンライン、対面を併用して対応している。

<質疑応答>

- ・キャリア支援センターの利用率と就職状況との間に、相関関係というものはあるか。

(構成員)

- ・相談員が学生から支持され、リピートされているかという影響は大きく、昨年度から新しい相談員が加わり、その中で利用した者の数が伸びて良かったという気持ちを込めて報

告した。(説明者)

(3) 令和4年3月卒業者の就職内定状況等について(静岡県立大学短期大学部)

短期大学部就職内定状況は、歯科衛生学科、社会福祉学科介護福祉専攻、こども学科で就職内定率100%、社会福祉学科社会福祉専攻は93.3%であり、1名が未内定となっている状況。全体では99.1%の就職内定率で、未内定の1名については、一般企業への就職を希望しており、就職活動を継続中。

求人状況について、「求人件数の推移」のカウント方法を令和2年より事業所単位から法人単位へ変更した関係で数は減少しているが、学生にとって十分な求人件数を確保している。

キャリア支援センターの利用者数については、看護学部の学生も含んでおり、令和2年度は新型コロナウイルスの関係で通学できない状況もあったことから、利用者数は減ったが、昨年度から少しずつ戻ってきている印象である。

人数計上していないが、オンライン相談も実施しており、こちらは徐々に増えている。卒業生からも好評で、継続して行っていきたい。

年度推移については、大きな変化はない。

<質疑応答>

・利用者がコロナの関係で減ったという説明があったが、オンラインによる相談は考えられなかったか。(構成員)

・オンラインでの個別相談会「静岡新卒応援ハローワーク」「静岡ジョブステーション中部」を利用しており、その利用者数は増えてきている。今後も継続し、オンラインでの対応を行っていく。(説明者)

・大学独自での対応は行っていないか。(議長)

・個別での相談には対応しているが、キャリア支援センター全体で実施することについては、現段階では対応していない。(説明者)

(4) 静岡市の「生涯活躍のまち静岡」の事業受託について

静岡市は市の施策として、「生涯活躍のまち静岡推進計画」を策定し、事業を進めているが、本学は静岡市より「駿河共生地区」における業務を5年連続で受託している。

対象地区は駿河区役所周辺の「駿河共生地区」であり、受託事業として、共生事業企画運営業務を担当している。そこでは相談員を配置し、コーディネーターが行政、地域住民等との調整を行い、地域貢献活動の運営を実施している。

本学にとって、本地区は人口2万人規模のモデル地区であり、調査研究のフィールドとして使えるというメリットがある。特に、静岡市と緊密な連携が取れているということから、フィールドの提供や、対象者の募集などに便宜を図っていただいている。

今年度の受託額は昨年と同様で7,530千円。

令和3年度の実績として、「地域健康ステーション」では、相談員が日常的に相談を受ける以外に、様々な健康講座を行い、285名の実績があった。

「地域健康オープンカレッジ」は、対象者に対する社会人教育を提供するものであり、難易度を分けて開催し、591名の実績があった。

「みなくるカフェ」は、交流会や意見交換会の場であり、138名の実績があった。  
令和3年度全体として、総勢1,014名の実績があった。

調査・研究では「地域を志向した研究」として、特に「生涯活躍のまち」という静岡の事業に沿った内容のものを実施した。昨年度は6件行い、その中には「生涯活躍のまち」と書かれているものがある。今年度もこの分野で研究費の使用ができることから、3つのワーキンググループで、課題研究プロジェクトを立ち上げ、対応していく。

#### (5) 新型コロナワクチン職域追加接種(3回目接種)の実施について

接種日程については令和4年5月24日から26日の3日間で、午前中は9時から12時、午後は13時から17時の1日7時間の接種で実施する。会場は2レーン、1日最大300人を予定し、27日を予備日とする。

実施会場は前回同様で、草薙キャンパス看護学部棟2階 臨床研究施設13214室。

接種予定者は事前アンケートによる希望者数が791人、現在接種予約を受け付けており、15日まで予約が可能となっている。

使用するワクチンは前回同様モデルナ社製のものを使用し、注意点として、接種量が前回の半分0.25mLとなっている。厚生労働省より接種量の誤りに関する注意喚起の連絡が来ているので、薬液充填を担当される先生方には既に周知の徹底をお願いしている。また、今回使用するマニュアルにも本情報を明記する。

ワクチンの要求量については、1箱10バイアル、150回分接種となっており、今回は6箱、900回分を確保している。

医療従事者として、予診には医師免許を持つ教員2名、接種には看護師免許を持つ教員4名、薬液充填を担当する薬剤師免許を持つ教員4名の計10名。会場運営スタッフとして、教員、事務職員、健康支援センター職員計14名。1日あたり計24名のスタッフで対応する。

円滑な職域接種の実施について、御協力をお願いする。

#### <質疑応答>

- ・学生がワクチンを打つ際、授業は公欠扱いで良いか。(構成員)
- ・前回同様、公欠とするよう、学生に周知する。(構成員)